

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	自然周期およびホルモン補充周期凍結融解胚移植における内膜パターンの臨床的意義に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	産婦人科 清水由実
研究実施体制	単施設後ろ向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026年6月30日
対象者	2020年1月~2025年12月に当院で実施された凍結融解胚盤胞移植周期の患者さん
研究の意義・目的	<ol style="list-style-type: none"><li>本研究は、凍結融解胚移植(FET)における内膜パターン(Leaf / non-Leaf)の臨床的意義を検討することを目的とします。</li><li>近年、ホルモン補充(HRT)周期においてLeafパターンが妊娠率および生児獲得率と関連するとの報告がありますが、自然周期(NC)における意義は明らかではありません。また、内膜パターンが妊娠成立のみならず妊娠維持(流産率)と関連する可能性については十分検討されていません。</li><li>そのため本研究は、①自然周期FETにおける内膜パターンと妊娠率・流産率の関連を検討する ②HRT周期との比較により内膜パターンの周期依存性を検証することを目的としています。</li></ol>
研究の方法	<p>【方法】対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、胚情報(発生日、ICM、TE、胚盤胞グレード)、移植日内膜厚(経腹超音波)、妊娠転帰(臨床妊娠、流産)、内膜パターン・卵胞径(決定日、経腔超音波)、移植回数、移植日ホルモン値、不妊因子、SEET有無、AHAの有無</p> <p>【評価・解析方法】群間比較、ロジスティック回帰分析、交互作用解析(周期 × 内膜パターン)、感度解析</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産婦人科 (氏名)清水由実 TEL:053-474-2222(代表) 生殖機能医学科外来 9:00~17:00 平日